



University of Kelaniya – Sri Lanka
Centre for Distance and Continuing Education

Bachelor of Arts (General) Degree Third Examination (External) – 2011/2012

April/ May/ June 2014

Faculty of Humanities

Japanese - JAPA - E3025

Reading, Comprehension, Writing & Translation

Answer All questions

No. of questions : 08

Time : 03 Hours

【1】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(10点)

日本の島々は、アジア大陸と太平洋の間にはさまれています。大陸は、冬になると厳しい寒さにおおわれ、また、夏は夏で暑さが厳しく、一年を通じて、寒暑の差は極めて大きいのです。日本は、冬になると、(a)からの冷たい風にさらされ、___A___、夏が来ると、太平洋から大陸の方へ流れ込む風を受けることとなります。このような風の動きを季節風といっています。

この季節風は、日本ばかりでなく、東洋一帯の気候を大きく動かしているのですが、特に日本は、その(b)を強く受けています。___B___、それが直接に、また間接に、日本人の生活や風俗のうえに、また、心の底に及ぼしている影響も少なくありません。

___C___ 第一に、それは、直接に、わたしたちの生活や健康のうえに大きな影響を与えています。台風や大雨・大雪・大水などのために、家が倒され、田畑が流される。乾燥した冷たい風や、うっとうしい(c)などが、病気の原因になる場合も少なくありません。

第二に、わたしたち日本人の風俗は、世界のほかの国々と変わった形をとっていますが、これは、日本独特の気候によるところが大きいといえます。太平洋を渡ってくる夏の湿った風は、暑い夏を、いっそう暑苦しくしています。雨も多い。その蒸し暑い夏をなんとかしてしのぐと、昔から、工夫に工夫を重ねられてきた結果が、今日の日本式の生活や(d)なのです。わたしたちの祖先は、冬の寒さについて___D___ 考えなかったようです。今日の、わたしたちが冬を暖かく過ごすための工夫は、明治から大正、昭和の時代にかけて、西洋から多く採り入れられたものです。

① A、B、Cに入る最も^{てきとう}適当な^{ことば}言葉を、次の□から選んで書きなさい。

それで	そして	まず	あまり	まだ	また
-----	-----	----	-----	----	----

A: () B: ()

C: () D: ()

② a、b、cに入る^{ことば}言葉を、次のア～オから選んで^{きごう}記号を書きなさい。

ア. 梅雨 イ. 風俗 ウ. 季節 エ. 北西 オ. 影響

a: () b: () c: () d: ()

③ 季節風とは何ですか。

④ 文中の「これは」とは何を指しますか。

【2】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(05点)

何か不正なことがあった場合に、それに抗議を申し込むのは、権利でなくて、義務だというのである。これは、なかなか味のある言葉である。

例えば、電車に乗る場合に、乗客が長い列を作って待っている。やっと電車が来て、乗客が順番に乗り込む。そのとき、わきからその列に割り込んで、電車に乗ってしまう人がよくある。そういうときに自分の前に、わきからひとり

くらい割り込んできて、ちょっといやな顔をするくらいで、そのまま黙認してしまうことがある。

こういう場合は、「横から割り込んではいけません。」と抗議を申し込むべきである。それを、ずるずる黙許してしまうことは、一つの道徳的な罪悪であることを、よく承知すべきである。ひとりくらのことに、むやみとやかましく言うことをなんとなくはしたないように考えるのは、たいへんな間違いなのである。これは、はしたないなどという問題ではない。実は、非常に利己的な考えが、その人の心の底に意識されないで潜んでいるのである。

というのは、わきから、だれかが割り込んできて、黙許してしまうのは、自分も、その人について電車に乗り込めることが明白な場合に限るからである。もし、その人が乗ることによって、自分が乗れなくなる場合だったら、おそらく抗議を申し込むに違いない。それをずるずる黙許するのは、被害が自分に及ばないからである。しかし、そのために、だれか、取り残される人が出てくるかもしれない。そうすると、その人は、次の電車まで、長い間待たなければならぬのである。

① 文章の内容に合っているものに○、合っていないものに×を書きなさい。

1. 抗議するのは義務であり、自分の権利でもある。 ()
2. 日本では、わきから列に割り込む人は全然見られない。 ()
3. わきからひとりくらい列に割り込んでも、黙許してはいけない。 ()
4. ひとりくらのことにむやみとやかましく言うのは、はしたないことである。 ()

② 「たいへんな間違い」と言っているのはどんなことですか。

③ 「被害が自分に及ばないから」と書いてありますが、ここで被害とはなんですか。

【3】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(05点)

二字の熟語の意味の関係

熟語の意味を正しく理解するには、一つ一つの漢字の意味を知るだけでなく、二つの漢字の間にある、意味の上での関係をよく知っておくことが大切です。これを知っていると、新しく出会った言葉でも、それがどういう意味であるか、だいたいの見当がつけられるからです。二つの漢字の間にある、意味の上での関係には、だいたい次のような種類があります。

- ① 同一の字を重ねて用いるもの。
- ② 同一または似た意味の字を重ねたもの。
- ③ 反対の意味をもつ字を重ねたもの。
- ④ 同類の事物を表す字を重ねたもの。
- ⑤ 名詞の前にそれを修飾する字を加えるもの。
- ⑥ 動詞・形容詞の前にこれを修飾する字を加えるもの。
- ⑦ 目的語・補語の前に動詞を加えるもの。
- ⑧ 名詞のあとに動詞がそうもの。
- ⑨ 有・無・未・既・不・非・否などを前に置くもの。
- ⑩ 動詞・形容詞・副詞などのあとに然・的などを加えるもの。

① 次の a~j の熟語は、①~⑩のうちのどれに入りますか。() に記号を書きなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| a. 作文 () | b. 出欠 () |
| c. 美人 () | d. 当然 () |
| e. 代代 () | f. 使用 () |
| g. 草木 () | h. 未婚 () |
| i. 最古 () | j. 人造 () |

【4】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(08点)

何気なくカンダタが頭を上げて、血の池の空をながめると、その、
____A____としたやみの中を、遠い遠い天上から、銀色のくもの糸が、まるで
人目にかかるのを恐れるように、一筋細く光りながら、____B____と自分の上

へ垂れて参るのではございませんか。カンダタは、これを見ると、思わず手を打って喜びました。この糸にすがりついて、どこまでも登って行けば、きっと地獄から抜け出せるのに相違ございません。いや、うまく行くと、極楽へ入ることさえもできましょう。そうすれば、もう針の山へ追い上げられることもなくなれば、血の池に沈められることもあるはずはございません。

こう思いましたら、カンダタは、早速そのくもの糸を両手で___C___とつかみながら、一生懸命に上へ上へとたぐり登り始めました。元より大どろぼうの事でございますから、こういう事には、昔から慣れ切っているのです。

しかし、地獄と極楽との間は、何万里となくございますから、いくら焦ってみたところで、容易に上へは出られません。ややしばらく登るうちに、とうとうカンダタもくたびれて、もう、一たぐりも上の方へは、登れなくなってしまいました。そこで、仕方がございませんから、まず一休み休むつもりで、糸の中途にぶら下がりながら、はるかに目の下を見下ろしました。

すると、一生懸命登ったかいがあつて、さっきまで自分がいた（ア）、今では、もう、やみの底にいつの間にか隠れております。それから、あの、___D___光っている恐ろしい（イ）も、足の下になってしまいました。この分で登っていけば、（ウ）から抜け出すのも、存外わけがないかも知れません。カンダタは、両手をくもの糸にからみながら、ここへ来てから何年にも出したことのない声で、「しめた、しめた。」と笑いました。

① A~Dに入ることばを、次の{ }から選んで書きなさい。

{ しっかり ・ するする ・ ぼんやり ・ ひっそり }

A: _____

B: _____

C: _____

D: _____

② どうしてカンダタは「手を打って喜びました」か。

③ 「容易に上へは出られません」と書いてありますが、それはどうしてですか。

④ ア～ウに入ることばの正しい順番^{じゅんばん}を選びなさい。

1. ア：地獄 、 イ：針の山 、 ウ：血の池
2. ア：血の池 、 イ：針の山 、 ウ：地獄
3. ア：針の山 、 イ：地の池 、 ウ：地獄
4. ア：血の池 、 イ：地獄 、 ウ：針の山

⑤ どうしてカンダタは「しめた、しめた。」と笑いましたか。

【5】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(02点)

もう 40 年以上も前のことだ。イタリアに行ってとてもびっくりした。フィレンツェからローマまで乗った電車が 5 時間以上も遅れたのだが、それに対してお詫^わびの放送もなければ、怒り出す乗客もいなかったのだ。そして、ローマを発つ時、駅の時計を見てもっと驚^{おどろ}いた。向こうのホームの時計とこちらのホームの時計とが 1 時間近くも違っていたのである。その時の電車も時間どおりに出発しなかった。電車は時間どおりに動くものと思い込み、いつも時間に追われる生活をしていた私は、イタリア人のおおらかさに打たれた。これぐらいの余裕^{よゆう}のある人生を、私も心がけたいものだ。

① 上の文章によると、筆者がイタリアに行って思ったことはどれですか。

1. 電車が時間どおりに動かないので、とても困る。
2. 時計が違った時間を示しているのは、不便だ。
3. 時間に厳^{きび}しくないのは、ゆとりがあつてよい。
4. 駅の放送もなく、日本より静かだよい。

【6】次の文章を、シンハラ語か英語に訳しなさい。(15点)

来客をどうもてなそうかということは、主婦にとって頭の痛い問題である。お茶だけで済まそうか、ケーキをつけたほうがいいかなどと迷う場合もあるに違いない。時によって、場合によって、客によって、もてなし方が違うはずである。

ひと口に客といっても、主人の上役、息子の友人、自分の母親、銀行・商社・保険会社の外交員など、いろいろの場合が考えられる。それらの条件を頭に入れながら、主婦は、どのようなもてなし方をしようかと選択するわけだが、そういう行為を、ここでは待遇とよぶことにする。

客をもてなす法は、飲み物や食べ物を出すことだけではない。その客に対して、どのような言葉づかいをするかということも、待遇に含まれる。

【7】次のテーマから一つ選んで、作文を書きなさい。(30点)

1. 外国語勉強の大切さ
2. 日本文化から学べること
3. スリランカの昔話

【8】පහත සඳහන් ප්‍රශ්න වලට පිළිතුරු සපයන්න. (25点)

01. පහත සඳහන් මාතෘකා අතරින් 4ක් පිළිබඳව කෙටි සටහන් ලියන්න.

01. භයමි ෆ්‍රීකො
02. අකුතගව රියුනොසුකෙ
03. කොකොරො (හදවත)
04. මිග නමය
05. ඉශු නො ඔදොරිකො (කුඩා ඉශු නළඟන)
06. අපායේ සිතුවම

02. යුක්ඛ මිෂිමගෙන් ජපන් සාහිත්‍යයට සිදු වූ මෙහෙවර පිළිබඳ විමසීමක් කරන්න.